



デビューしたてのニンジャ250Rで
耐久レース初挑戦！
目指すはカワサキ最上位!?



街のバイクショップ 国内最大の草レースに挑戦!

エンデュランスカーニバル2008もてぎオープン7時間耐久ロードレース

2008/8/30 (SAT) もてぎマスターズ7時間耐久ロードレース決勝 2008/8/31 (SUN) もてぎオープン7時間耐久ロードレース決勝 本文/千葉政之 写真/浪折明良 中村肇夫

新設されたオープンクラス

◇WTクラス:225cc以上250cc以下、水冷、2気筒 ◇WSクラス:225cc以上250以下、水冷、単気筒(※このクラスのみピットイン時間が15分間)
◇AS1クラス:225cc以上250cc以下、空冷、単気筒 ◇AS2クラス:145cc以上225cc未満、水冷・空冷、単気筒 ◇AS3クラス:115cc以上145cc未満、水冷・空冷、単気筒



ピットでは順調だった。



サクセス&KTS湘南 #48「ニンジャ250R」



オリジナルマフラーはバイクショップサクセスがワンオフ製作。改造点はECU変更とエンジン内のバルブ面研、オーリンズサスペンションを装備。

小排気量クラス「オープンクラス」

毎年、栃木県「ツインリンクもてぎ」で世界最大の草レースを目指して開催されている「もて耐」は、今年で11年目を迎えた。今年から小排気量マシンで競う「オープンクラス」が新設され、街中を走っているようなバイクでも気軽に耐久レースを楽しめるものに最適のクラスとして注目されている。その中のWTクラスに、デビューしたばかりのカワサキニンジャ250Rで挑戦したチームの「サクセス&KTS湘南」は、スポーツバイクの楽しみはやっぱりスロットル全開にあり!という事で参戦を決めたという。ちょうど1ヶ月前に開催された鈴鹿8時間耐久ロードレースはプロフェッショナルなレースであるが、もて耐はあくまでアマチュアな草レース。決勝前にメインストレート上で行われたガイダンスでは、トラブル時の対処やその心構え等が二つ丁寧な説明された。モータースポーツとは本来、他のスポーツよりもアクシデント時の危険度が高いスポーツなので、安全に配慮するのは非常に大事な事だ。また、さまざまなカテゴリーのマシンが混走するため、より改造されたクラスはピットストップ時間が3倍の15分間とするなど、少しでもイコールコンディションでの競争となるようルールも工夫されている。

速さ勝負よりも燃費勝負

早朝に最近流行のゲリラ豪雨のようなにわか雨が降ったものの、午前10時のスタートにはコース上もほぼドライコンディションを取り戻していた。決勝は耐久レースならではの、ライダーがコースサイドのマシンまで駆け寄ってスタートするルマン式により全車62台がスタート。序盤は雨の影響か最終コーナー

